

サポートブック普及啓発について

1. サポートブックの概要

- 保護者が、子どもの成長の様子を記録し、家族以外の人(=支援者)に関わってもらうときに、「子どもの様々な情報」を知ってもらうためのツール。
- 支援者からの視点での情報を加えることで、支援者と保護者とのコミュニケーションツールとしても役立ち、保護者自身も、これまで気づかなかった子どもの一面に気づき、自らの子どもとのかかわりを見直すきっかけとなる効果がある。
- PC で直接入力できる Excel 版を神戸市 HP 上に掲載。

<https://www.city.kobe.lg.jp/a86919/kosodate/sodan/hattatsushogai/siryo.html>



2. サポートブックの内容

- 対象年齢：幼児から小学生低学年（概ね3歳～9歳）
- 必要なときや場所、目的に応じて、支援者と共有する内容を調節できるページ構成。
 - 「本人の情報（緊急連絡先や医療的なケア等の情報）」
 - 「好きなことや苦手なもの」「身体状況（疾患やアレルギーの有無等）」
 - 「コミュニケーション（あいさつ、理解・聞くこと、表現・話すこと）」
 - 「人との関わり（家族関係、大人と、子ども同士、家族以外の人、初めての人）」
 - 「活動（集中する、同時の作業、体を使う運動、手先の細かな作業）」
 - 「集団での様子」、「感覚・行動」、「パニックや危険なこと」、「日常生活」など。



3. 令和5年度の取り組み状況

- サポートブック作り方講座（支援者向け）
 - 内容：サポートブックの理解、保護者等への助言方法など
 - 対象：幼稚園、保育所（園）、認定こども園、児童発達支援センター・事業所等の支援者や行政職員
 - 開催時期：令和5年8月～10月・各区役所（10箇所）
- サポートブック作り方講座（保護者向け）
 - 内容：サポートブックの理解、サポートブックの書き方など
 - 対象：発達の気になる子どもの保護者（就学前の児童3～6才程度）
 - 開催時期：令和5年10月～12月・各区役所（10箇所）

4. サポートブックの活用等について

- 児童発達支援事業所・放課後等デイサービスにおいて、サポートブックの活用をお願いします。
- サポートブックとネットワークプラン（教育委員会）の違いについて
- 特別支援教育相談センター（教育委員会）について（5歳児就学相談・入学後の教育相談）
- 神戸市発達障害者支援センターのHPに、各種情報を掲載しています。



<https://www.city.kobe.lg.jp/a86919/kosodate/sodan/hattatsushogai/index.html>